

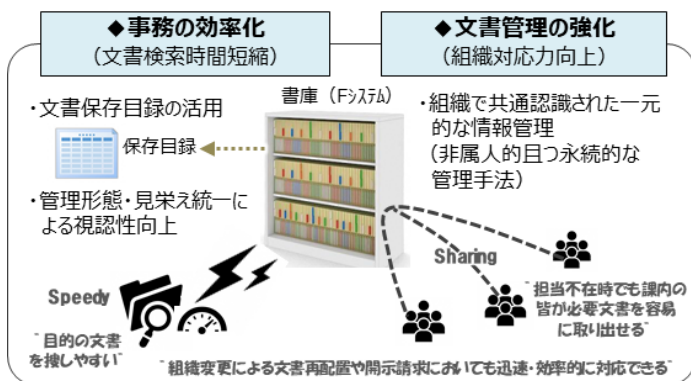
事例: 電子決裁機能付き文書管理システムの導入【愛知県瀬戸市】



- 電子決裁システム導入による行政事務のペーパーレス化を推進
- ファイリングシステムを導入することで、将来的な文書の完全電子管理への道筋に

概要

- 一部の部署で試行した電子決裁機能付きの文書管理システムを全庁で本格運用することで、行政事務のペーパーレス化を目指す。
- 行政文書は、簿冊ではなく、ファイリングシステム※を導入することで、事務の効率化（文書の検索時間短縮）、文書管理の強化（情報の一元管理による組織対応力向上）、ライフサイクルの厳格化（期限満了文書廃棄の円滑化）等の効果を期待。
 - ※文書を小分類フォルダ（BSフォルダ）に入れて、それを大分類と中分類の仕切りで区切った書庫棚へ収納する管理手法。
- これは、文書管理システムの書類分類と同一であることから、将来的な文書の電子管理、電子決裁への完全移行への道筋とする。



「ファイリングシステム」は、令和4年度末の全庁展開完了を目指す。現在仮運用中の「文書管理システム」は「ファイリングシステム」の導入完了組織から順次本格運用とする。

【参考情報】 人口:13.0万人、関連URL: <http://www.city.seto.aichi.jp/docs/2020032700059/>

類似の取組を行っている団体: 北海道奈井江町 (公文書管理システム導入予定)